

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度第2回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和元年7月25日(木) 14時00分 開会 ・ 15時38分 閉会
開 催 場 所	入間市産業文化センター A棟2階 第2集会室(A)
議 長 氏 名	会長 白井久里子
出席委員(者)氏名	白井久里子 大竹千里 原田正則 清水繁 野崎皓布 秋元きみ江 高橋春代 田中宣子 池田洋子
欠席委員(者)氏名	青山衣津子
説明者の職氏名	館長 佐藤智 主幹 矢須良男 副主幹 渡部慎一郎 副主幹 松下麗比奈
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 教育部長あいさつ 4 協議事項 平成30年度社会教育施設アクションプラン(外部評価)について 5 その他 6 閉会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・次第(P1) ・平成30年度社会教育施設アクションプランについて(P2~14)
事務局職員職氏名	教育部長 新見輝明 教育部次長 関谷佳代子 図書館長 佐藤智 主幹 矢須良男 副主幹 渡部慎一郎 副主幹 松下麗比奈 主任 田中麻里
会議録作成方法	要点筆記方式

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 教育部長あいさつ
4. 協議事項
平成 30 年度社会教育施設アクションプラン（外部評価）について
佐藤館長、矢須主幹、渡部副主幹、松下副主幹より説明。
5. その他
次回協議会開催日程について
渡部副主幹より説明。
6. 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
渡部副主幹	<p>協議事項 平成 30 年度社会教育施設アクションプラン（外部評価）について</p> <p>委員の皆さまからは多くのご意見をいただきました。本日は外部評価についてご協議いただきたいと思います。資料中の事業評価点数につきましては、10名の委員さんに評価いただいた点数の平均です。</p> <p>ご意見のなかに一部質問事項等もございましたので、どのように記載をしていくかについてもご協議いただければと思います。この内容は今後HPに掲載し一般公開となります。</p>
白井議長	<p>結構な量がありますが、まずここは話しておきたいという部分があればお願いします。</p>
高橋委員	<p>私は宮寺地区に住んでいますが、宮寺には配本所しかありません。宮寺公民館で親子支援の事業をやっていると結構子どもたちが集まってきましたが、配本所の方まで足を延ばせていません。子ども向けの本もあるけれど、大きい椅子や机しかなく、子どもは連れていけないような雰囲気です。アクションプランを見ていくと、配本所についてのことが一切なかったの、色々な部分に配本所についての意見を書かせていただきました。配本所にもっと力を入れていただけると図書館が近くにならない子どもたちも潤うのかなと思いました。</p>
白井議長	<p>P 14 についてということよろしいですか。</p>
高橋委員	<p>P 4 と P 14 です。</p>
白井議長	<p>配本所がどんなものかについても含めて、事務局よりご説明をお願いします。</p>
渡部副主幹	<p>配本所は図書館の本を置いて貸出をするという機能を持っており、各公民館にある図書室とは全く別のものになります。配本所でも年に 1、2 回おはなし会を（P 4）ということですが、今後の課題だと思います。児童用のソファ・椅子等（P 14）についても、検討していかねばならない部分だと思います。</p>
野崎委員	<p>今のことに関連して、P 12 でどなたかが「西武・二本木公民館に図書室がありますが・・・」と書いてありますが、こちらは図書館とは全く関係のない施設です。蔵書は寄贈の本で賄っています。公民館でも若干の予算で新刊を購入しています。目的は図書館とは異なり、集会など様々な行事で来られる方達のちょっとした憩いの場となっています。大変良い感じの運営がされていますが、図書館とは関係ありません。</p>
白井議長	<p>では、最初から順に見ていきたいと思います。</p>

	<p>P 2 についてご説明をおねがいします。</p>
渡部副主幹	<p>2. 貸出点数の増加につきましては、「どれくらい活用されているのか」「多く活用されることを願う」といったご意見を頂いております。図書館といたしましては、貸出点数の増加を目標に掲げておりますので、色々な事業を通して利用促進を図ってまいります。</p> <p>5. の大人向け紙芝居の新刊は、ホームページや紙ベースで案内をしています。また、登録されている方にはメールでご案内を送付しています。</p> <p>7. の大活字本については、どれだけ読まれているかということですが、年間の貸出冊数は 6,184 点、ひと月で 400~500 点、多い月で 600 点貸出されています。</p>
白井会長	<p>大活字本はよく活用されているということですね。</p>
渡部副主幹	<p>図書館としては活用されているという認識です。</p>
清水委員	<p>新刊紹介の方法について補足しますと、どの図書館も新刊コーナーがあって、新しく入った本などを集めて展示されていると思います。よく利用させていただいています。</p>
白井議長	<p>次に P 3 についてご説明をお願いします。</p>
矢須主幹	<p>8. の雑誌スポンサー制度について、どの様になってきたのでしょうかということですが、平成 23 年度より認定 NPO 法人「地域活性化プラザ」にご協力いただき「図書定期刊行物寄贈サポート事業」を実施していました。こちらは協賛していただける企業を NPO 法人に見つけていただき、NPO 法人、図書館、企業の 3 者で覚書を締結し、雑誌を図書館に寄贈していただくものです。NPO 法人がこの事業から撤退し、そこに書店が入り、現在は書店、図書館、企業の 3 者で覚書を締結し、申込制というかたちを取るようになったところが変更点です。企業のメリットは寄贈していただいた雑誌の表紙にその企業の広告が載るという点です。</p>
白井議長	<p>スポンサーによる雑誌受入減少についての対策についてはいかがでしょうか。</p>
渡部副主幹	<p>今までは NPO 法人に企業との仲介をしていただいていたのですが、新しい制度での課題としては、図書館から企業への働きかけがより必要になってくると思います。</p>
野崎委員	<p>外部評価をするのが初めてで非常に悩んだのですが、まず数値目標、事業目標がどのような根拠に基づいてたてられているものか、分かりませんでした。そのため、私には自己評価と違う評価をつけることができませんでしたし「事業評価の主な理由・・・」にも何も書くことができませんでした。</p> <p>そういう意味で、外部評価は点数での評価ではなく言葉で表記する方が、資料のない自分にはいいのかなと感じました。数値目標がどのような根拠でたてられたのか、私たちにも分かるようにすれば評価しやすいと感じました。</p> <p>例えば、9. の外国人資料の収集についても、自己評価の事業評価理由には「点数は少ないが・・・」とありますが、目標の 2,050 点という数値が少な</p>

	<p>いのか担当の方には分かっても私たちにはよく分かりません。他の事業についてもそうです。そういったところが、外部評価する立場としては評価しにくかったです。</p>
白井議長	<p>今のご意見も貴重なご意見だと思いますので、これからは生かしていただければと思います。</p> <p>1. の司書職員数についてはいかがですか。</p>
渡部副主幹	<p>厳密に何%以上という基準はありませんが、公立図書館では司書が必ず 1 名以上必要です。レファレンス等の業務がございますので、カウンターで必ず 1 名いることが望ましいと考えます。司書の現状は本館がパートを含む職員 37 名のうち 10 名 (27%) です。分館は指定管理者制度導入時に司書率の目標値を 50%としており、西武分館が 21 名中 13 名 (61.9%) 金子分館が 6 名中 3 名 (50%) 藤沢分館が 19 名中 9 名 (47.4%) です。</p> <p>本館では前年度、今年度と職員を 1 名ずつ司書講習に派遣し資格を取得しているのですが、人事異動により資格者が減となくなってしまうことがあります。資格保有者の異動も要望しているところですが、現状では一人増え、一人減りというような状況で推移しております。</p>
白井議長	<p>次に P 4 です。何かご意見はございますか。 (意見なし)</p> <p>次に P 5 について何かございますか。</p> <p>6. のボランティアについて図書館から何かございますか。</p>
渡部副主幹	<p>ボランティアにつきましては、図書館としては今後読み聞かせボランティアを組織化し、つながりを強化していきたいとは考えておりますが、具体的には決まっていません。このほかに配架ボランティアや本の修理のボランティアなどもやっていけたらという思いは持っていますが、ご指摘のとおり、具体的な募集計画を立てていかななくてはいけないと思っています。</p>
原田委員	<p>7. のプチ一日図書館員ですが、意外に知られていないのではないかなと思います。とてもいい取り組みだと思いますので、拡大できる範囲で拡大できたら子どもたちも嬉しいかなと思います。</p>
白井議長	<p>次に P 6 について何かございますか。</p>
渡部副主幹	<p>10. の文学講演会については、ご意見のとおりキャンセルが多く大変もったいないですが、キャンセルを見込んでの受付等も難しいのかなと思います。また、講演会を年 2 回にとのことですが、予算も厳しい状況ではなかなか難しい部分もあると思います。</p>
田中委員	<p>13. 本館閲覧席夜間開放事業は目標が 20 席となっておりますが、全部で 20 席なのですか。</p>
渡部副主幹	<p>図書館本館の閲覧席は 60 席ございます。昼間の時間帯ですと、試験前は混みあいますが、20 時以降は 20 人ぐらいで推移しています。しかし、この 1 年で 1 日平均 3 人減少していますので、PRが必要とは思っています。</p>
野崎委員	<p>利用される方は中高生ですか。</p>

渡部副主幹	<p>一般の方と学生が半分ずつくらいです。この時間帯は図書館のカウンターが閉まっておりますので、独自に勉強される方が利用されているものと思われます。</p>
野崎委員	<p>最近、ほとんどの私立高校が放課後自習室を設けております。公立図書館でそこまでやるべきかという疑問は残りますが、貴重な場所ではあると思います。</p>
白井議長	<p>次にP 7で何かございますか。 (意見なし) P 8で何かございますか。 20. の図書館だよりの発行の部分について図書館の方から何かございますか。</p>
松下副主幹	<p>図書館だよりは年 4 回発行しています。配布場所は図書館本館、分館、配本所、移動図書館、児童センターややまゆり荘などの市内の公共施設でお配りしているほか、HPにも掲載させていただいております。また、全ての市職員が見られるように配信もさせていただいております。今後もたくさんの方に手に取っていただけるよう工夫していきたいと思っております。</p>
白井議長	<p>次にP 9で何かございますか。 (意見なし) 次にP 10で何かございますか。</p>
原田委員	<p>1. 図書館見学も 2. 図書館利用教室もとてもありがたい取り組みで、子どもたちもとても楽しみにしています。どちらの事業も 16 校中 15 校実施とのことですが、未実施の 1 校は同じ学校ですか。また、毎年未実施なのでしょうか。</p>
松下副主幹	<p>図書館見学と利用教室の未実施の学校は別の学校です。また、毎年未実施というわけではありません。</p>
白井議長	<p>次にP 11で何かございますか。</p>
田中委員	<p>読み聞かせについては、1 回研修を受けただけでは決して十分ではなく、借りてきたものを熟読して皆さんやっているかと思いますが、講師の先生からの指導を受けると相当違ってきますので、時間帯によっては参加するのが大変かと思いますが、ぜひ研修を受けていただきたいと思っております。</p>
白井議長	<p>確かにそうだと思います。図書館でこういうことをしていただけるのはありがたいと思います。せっかくですのでたくさんの方に参加いただければと思います。働いている方も多いのでから時間帯など難しいところがあるのかなと思います。</p>
秋元委員	<p>そういう忙しい方たちのためにも、最低限の読み聞かせの基礎についての冊子を図書館で用意して配ってもらえるとよいと思います。今はそういった冊子がありますか。</p>

松下副主幹	<p>図書館独自で配布できるような冊子の用意は、今の時点はございません。ただ、お問い合わせがあったときには参考となるような本がたくさん出版されていますので、そちらのご案内をしたり、ボランティア研修会のときに講師の先生が作ってくださったレジュメがございますので、そちらをお配りしてご案内している状況です。</p>
白井議長	<p>研修会の後に、本の持ち方などのごく初歩的な基本のことや本の紹介などの簡単な冊子を、各学校の読み聞かせボランティアにお渡ししてもいいのかなと思いました。</p>
原田委員	<p>移動図書館について、巡回コースの目標が 8 校となっていますが、その根拠について教えてください。本館や分館から遠い学校ということでしょうか。</p>
矢須主幹	<p>おっしゃるとおりです。本館、分館から遠い小学校です。時間帯のこともあり、これ以上増やすことも難しいですので 8 校で継続してまいります。</p>
白井議長	<p>次に P 12 で何かございますか。 (意見なし) 次に P 13 で何かございますか。 7. のブックスタート事業の際には、ある程度決まった職員の方が行っているのでしょうか。</p>
松下副主幹	<p>ブックスタートの関連事業ですが、年 12 回健康福祉センターで行われている B C G の予防接種の時間をお借りして実施しています。本館、分館の職員とで当番制で行っており、主に児童担当の決まった職員が行っております。</p>
白井議長	<p>次に P 14 について何かございますか。 (意見なし) では、全体を通して何かご意見等ございますか。</p>
池田委員	<p>P 3 の 8. 企業スポンサーによる雑誌寄贈の受入れについてですが、新しい制度についての広報活動はされたのですか。</p>
矢須主幹	<p>図書館のホームページのトップの「お知らせ」に現在掲載させていただいているのと、本館の雑誌架の上に制度の概要について掲示しています。また、制度が変わる際には、今まで協賛していただいていた企業の方にも説明をさせていただいています。 今月末には、もう 1 社こちらの制度について説明にお伺いする予定です。 今後は、工業会などの集まりなどでも P R をしていこうと考えております。</p>
野崎委員	<p>金子分館の認知症コーナー (P 14 6.) は具体的にどのように設置されているのでしょうか。</p>
深野分館長	<p>去年の 9 月に、世界アルツハイマーデーに合わせて認知症の特集展示を行った際に色々調べたところ、金子地区には統計的に 500 人位の自立支援の必要な認知症の方がいる可能性があるものの、実際には 200 人程度しかいらっしゃいません。ということは、残り半数以上の方が無自覚に過ごしている可</p>

	<p>能性があり、もっと認知症のことを広く知っていただいて、予防などをしていく必要があるだろうということで、館内の端の方に認知症の本だけ集めたコーナーを常設で設置して、毎月テーマを決めて、さまざまな展示をしています。</p>
秋元委員	<p>P 6 の 10. について、文学講演会当日キャンセルが多いということですが、幾らかでもお金を負担いただければ、安易な申込みも減るのではないかと思います。</p>
高橋委員	<p>今のことに関連して、大体どのぐらいの予算を計画して講師の方を呼んでいるのでしょうか。</p>
矢須主幹	<p>8～10 万です。</p>
池田委員	<p>秋元委員がおっしゃったように、講演会の有料化はできないのですか。</p>
矢須主幹	<p>今まで講演会をお金をいただいてというかたちでは実施したことがございませんが、他市の状況を確認しつつ検討していきたいと思えます。</p>
池田委員	<p>無料なのでキャンセルしてしまうというのものもあるのかなと思いますが、結果的に有料化することができないのであれば、会場にギリギリ入るくらい受付人数を水増しすることも必要なのかなと思いました。</p>
佐藤館長	<p>たくさんのご意見をいただいてまいりました。反映できるところ、そうでない部分等ございますが、来年に向けて研究してまいりたいと考えております。いただいた意見について本日ご回答申し上げてご了解いただいた件についても、文言の整理等させていただき公表に向けて準備を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>その他 次回協議会開催日程について</p>
渡部副主幹	<p>11 月 7 日（木）を予定しております。また改めてご通知申し上げますので、よろしく申し上げます。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 1 年 12 月 14 日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>白井久里子</u></p>	